

ごあいさつ

平素は格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。

平成18年度の当金庫の業務につきまして、ご支援とご愛顧に対し心から厚くお礼申し上げます。

平成18年度のが国経済は、大手企業を中心に回復・拡大傾向を持続しましたが、その一方で業種や規模、地域間の格差が一段と拡大し、当金庫の主要取引先である中小零細企業まで景気回復の実感が広がるには至りませんでした。

また、金融機関を取り巻く環境を見ると、約五年間にわたって続いてきた日本銀行の量的緩和・ゼロ金利政策からの転換を受け金利の見直しが進むとともに、不良債権問題が峠を越えたことを契機に「金融システムの安定」から「金融システムの活力」へとその軸足を移し、郵政民営化等を中心とした金融制度改革の動きが活発化するなど金融政策の大きな方向づけが行われました。

当金庫においては、平成17年度から2年度間の機能強化計画である「地域密着型金融推進計画」に基づき、引き続き地域の中小企業の再生・支援や中小企業金融の円滑化等地域金融機関としての機能強化に積極的に取り組んでまいりました。

平成19年度におきましても、不良債権の発生防止を含むあらゆるリスク管理により健全経営に努めるとともに、経営情報の積極的な開示により信頼性の向上を図りつつ地域の利用者の利便性向上に努め、地元金融機関として、皆様のお役に立てるよう努力してまいり所存でございます。

この資料は、当金庫の経営方針や業務内容、業績の推移などを広く皆様にご報告するために作成したものであり、これによって当金庫の現況をより深くご理解いただければ幸いに存じます。

何卒、今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



平成19年6月

花巻信用金庫

理事長 五内川 信吾